

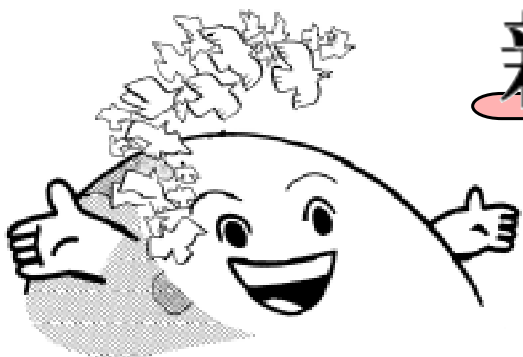
2010

核兵器のない

平和で希望ある世界へ



新しい歴史のページを開きましょう



核兵器廃絶へ絶好のチャンス NPT再検討会議

広島・長崎の被爆から55年。核兵器のない平和で希望ある世界へ、新しい歴史のページを開く年、2010年がはじまりました。

「核兵器のない世界を追求する」

と約束した米オバマ大統領の演説を一つの契機に、核兵器のない世界をめざす国際政治の動きが高まりました。

今年5月、ニューヨークで開催されるNPT（核不拡散条約）再検討会議が開かれます。その会議では、核兵器を「減らすだけでなく、なくす」との国際ルールをつくることができるかが、大きく問われています。

すでに、世界の3分の2を超える国々が核兵器を禁止する条約の交渉開始を求め、国連の潘基文事務総長も、条約交渉を検討するように核保有国に求めています。「核兵器のない世界」は、国際政治の場で話し合い、核兵器を禁止しなければ実現しません。

あなたの署名が 世界を変える大きな力に

この会議に向けて、いま、世界中の核兵器廃絶を願う人々や平和団体が、いっせいに「核兵器禁止条約の交渉開始を」と呼びかけ、署名を集めています。その中心には、「ふたたびヒロシマ・ナガサキを許してはならない」という被爆者の思いがあります。

核兵器のない世界で公正な世界のために署名にご協力ください。みなさんの署名はすべてニューヨークに運ばれ、核兵器廃絶を望む人類の声の証として、NPT会議に提出されます。

「核兵器廃絶」は人類の悲願です。核兵器廃絶を求める世界の草の根運動の、大きな広がりが必要ならば悲願も実現しません。あなたの署名は、世界を変える大きな力につながります。

